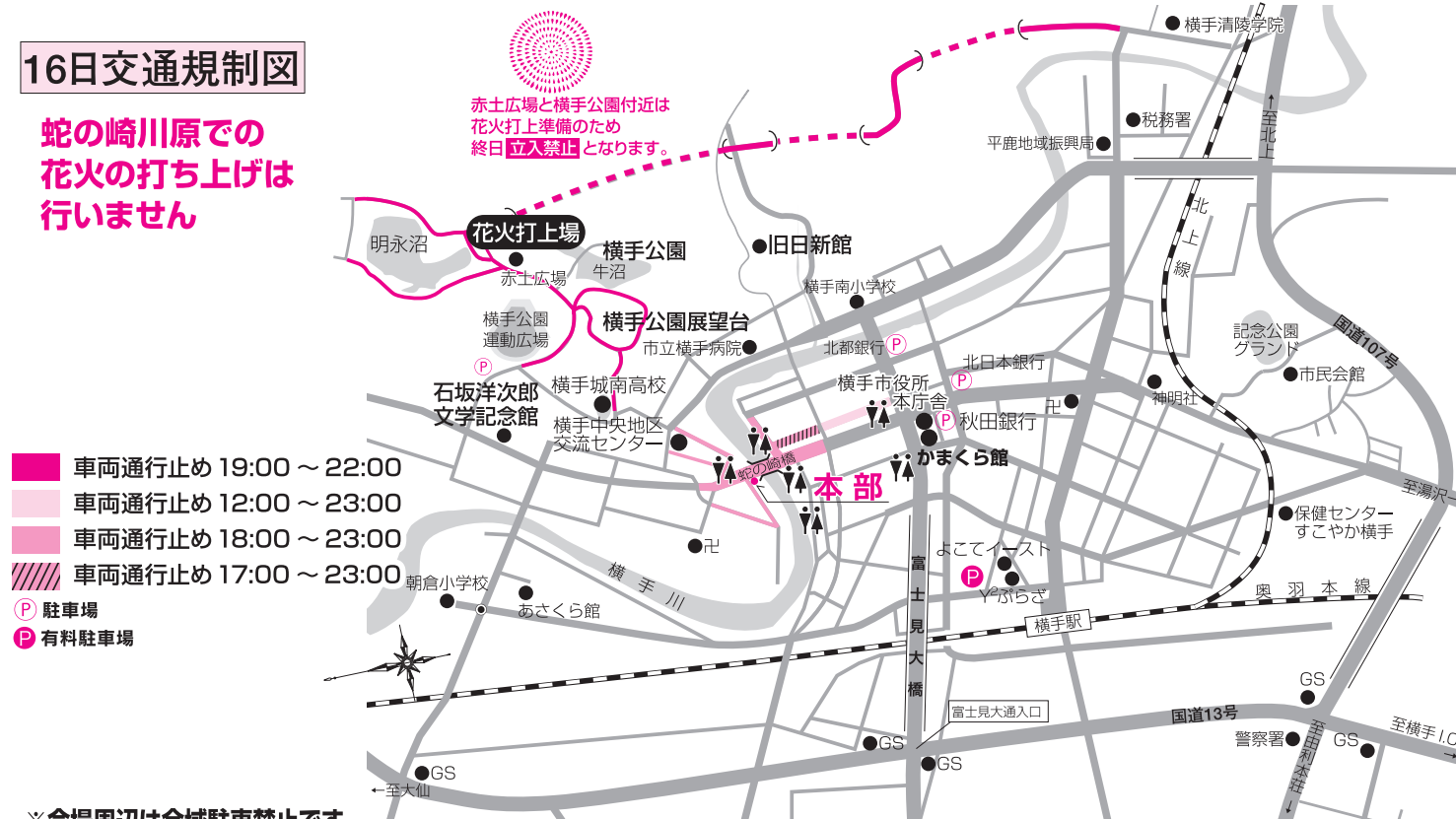


2025 送り盆まつり 8/16 交通規制図 まつり見どころ

16日交通規制図

蛇の崎川原での
花火の打ち上げは
行いません



《お願い》

- ① 打上げ現場付近及び風下での自動車の駐車はご注意ください。万一煙火のモエカスで塗料を傷つけても当方では責任を負い得ません。もし不発玉や不発火薬を見つけたら、すぐに主催者又は警察官等に届けて下さい。
- ② 花火の打上げ現場は大変危険ですから、立入禁止区域内には絶対に入らないで下さい。
- ③ 打上げ終了後、並びに翌日も不発煙火、その他危険物が現場付近に落下しているおそれがありますので、事後処理が終了まで立入を禁止します。
- ④ その他警備警戒員の指示指導に従い、事故防止にご協力願います。

蛇の崎川原での花火の打ち上げは行いません

まつり見どころ

屋形舟繰り出し・協賛花火打上ほか

秋田県指定無形民俗文化財送り盆まつり[祭りの由来]

江戸時代の中期過ぎ、当地方は度々大飢饉におそわれ、特に享保・天明・天保の頃の惨状は甚だしかったといわれます。送り盆まつりはこれら大飢饉で亡くなった人を供養するため、約300年前、柳町町内が屋形舟を作り、柳を添え枝に法名を書いた短冊を下げ、川原に繰り出して霊を供養するのが始まりと伝えられています。

まつりスケジュール

【蛇の崎橋橋上】

18:00 ~ 桟敷席・観覧席 入場開始

【蛇の崎川原】

18:00 頃 送り盆大法要

18:30 頃 屋形舟繰り出し（往路）

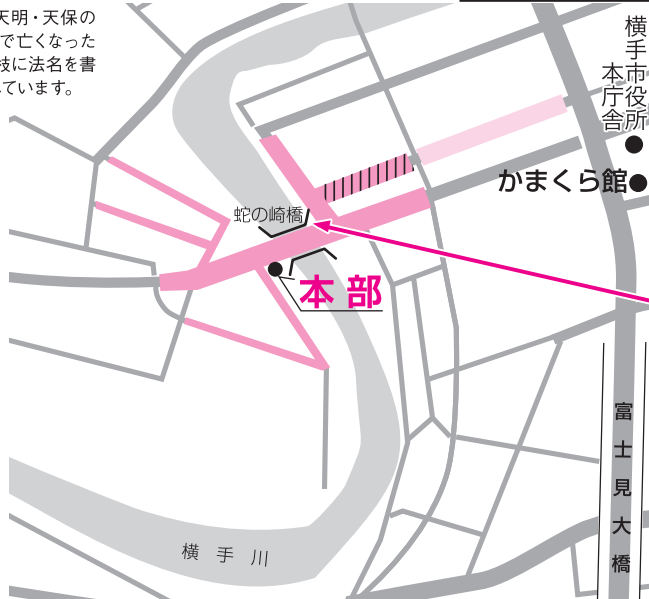
19:00 頃 灯籠流し

19:45 頃 屋形舟繰り出し（復路）

【横手公園付近】

19:45 頃 ~ 協賛花火打上げ

※天候により、時間が変更となる場合があります。



なぜ、舟をぶつけるの？

屋形舟を川原に繰り出して死者の霊を弔うというのがそもそもの送り盆の由来です。弔った後の帰りには舟をぶつけ合って若衆のエネルギーを発散させたのが今のお祭りになりました。そのため、ぶつけ合いの勝ち負けや判定などは特ありません。

屋形舟繰り出し

各町内の横手若衆が屋形舟を繰り出し、御霊を送ります。川原で供養を済ませた舟は、蛇の崎橋の上で迫力あるぶつけ合いを繰り広げます。